

2015年も 山梨県甲府市上帯那地域にて 耕作放棄地活性化活動を開始！

山梨県甲府市「帯那地域活性化推進協議会」との
「企業の農園づくり推進事業に関する包括協定」に基づく取り組み

2015年度 第1回活動レポート
2015年5月30日（土）



青空の下、いっぱい汗をかいて作業しました！

耕作放棄地の面積率が全国2位の山梨県。ファミリーマートは2011年5月に帯那地域活性化推進協議会（甲府市）と、「企業の農園づくりに関する包括協定」を締結しました。以降、帯那地域活性化推進協議会の皆さんと交流を深めながら、山間地域にある甲府市上帯那（かみおびな）地域にて、菜の花や青大豆、お米をつくることで、田畑の再生をお手伝いする活動に取り組んでいます。

この地域社会貢献活動も今年度で5年目を迎えます。2015年度第1回目の活動は、「うるち米（こしひかり）」と「もち米」の苗を植える作業です。甲府の気温は33度！強い日差しの照りつける中、今年の活動がスタートしました。

Report

快晴に恵まれ、絶好の田植え日和に！

今年も快晴に恵まれ絶好の田植え日和となりました。雄大な富士山の姿に感動しながら棚田へ向かうと、帯那地域活性化推進協議会の皆さまのおかげで、棚田には既に水が張られ田植えの準備は万端！毎年この活動と一緒に取り組んでくれる甲府市立千代田小学校の児童の皆さんと校長先生をはじめとする先生方もいらしてくださいました！こどもたちは田植えと並行して、用水路のいきもの調査も行いました。

参加者の支度も整い、いよいよ田植えの開会セレモニーが始まりました。帯那活性化推進協議会の末木会長のご挨拶があり、みんなの士気も高まります。田植えをする棚田3枚のうち1枚は田植え機で残りの2枚を手作業で、うるち米ともち米の苗を植えます。黄金に輝く稲を想像し、いよいよ田植えのスタートです！



雄大な富士山を拝み、いざ棚田へ！

もち米
（手作業）



田植え前のセレモニー。今年も多くの方が集まってくださいました。



うるち米
（田植え機）



うるち米
（手作業）

田んぼはこちらの3枚です！手作業と田植え機でうるち米ともち米の苗を植えます。

青空の下、いよいよ田植えが始まりました！
手作業チームは帯那地域活性化推進協議会の皆さまのご指導のもと、ピンと張ったロープを目印に苗を植えていきます。
初参加者は、足を掬われて転ばないかドキドキしながら、田んぼに足を踏み入れます。必死に苗を植える傍らで、カエルやアメンボがス〜イスイッと気持ちよさそうに泳いでいきます。都会ではなかなか味わえない光景です。

田植え機での作業は一見楽そうに見えますが、実際に動かしてみると「ダメダメ！せっかく植えた苗を踏んでる！」ダメ出しが…。田植え機は、最後に苗の植えられない空間が出来ないように、しっかり計算をして植えていかないといけないということ。まっすぐに植えるのも熟練の技で、思った以上に難しそうです。

田植えの途中で「いきもの調査」の時間になり、こどもたちは用水路へ向かいます。地域環境資源センターの職員の方と一緒に、カエルやイモリをたくさん捕まえました！自然と共存する生き物に触れ、環境について学ぶ良いきっかけになったことでしょう。

ようやく全ての田んぼに苗を植え、本日の田植えは終了！田植え作業を通じて、帯那の自然を体いっぱい感じることができました。どうかすくすくと育ってくれますように。



静かだった田んぼが活気でいっぱい！地域の皆さまや甲府営業所の皆さんと苗を植えています。



少し気を抜くとせっかく植えた苗を踏みそうに…



こどもたちも真剣に説明を聞いて、泥んこになりながら苗を植えました。



慣れた手つきのファミリーマートスタッフも！経験者は初心者のよき指導者となりました。



わあ！カエルがいっぱいいたね！



地域の奥様方手作りのカレーライスとお惣菜は格段のお味！いつも本当にありがとうございます。



一生懸命働いた後はランチタイム！帯那の皆さまとファミリーマートで楽しい時間を過ごしました。

ファミリーマートは、事業活動を通じて常にお客さま、地域社会、そして地球を幸せにする存在となることを目指します。